

「長野県動物福祉協会」

愛玩動物の代表格である犬や猫は、飼い主の望まない繁殖等により、全国で20万頭（平成22年度 環境省調べ）を超える命が殺処分という形で失われています。

ちなみに長野県においても、その数約2千頭（平成23年度）を数えています。

そこで今回は、犬や猫といった愛玩動物を適切に飼養し、こうした動物と人が共存できる社会をつくることを目的に、平成元年に任意団体として活動を始め、平成16年に法人化されたNPO法人「長野県動物福祉協会」を紹介します。

このNPO法人は、

- 社会教育の推進
- 環境の保全
- 子どもの健全育成

を活動の中心に据えています。現在の主な活動は

- 猫の「不妊手術」を行うこと
 - 犬の「正しいしつけ」の勉強会を行うこと
- の2点に絞って、その普及に努めています。



不妊手術の受付風景

県でも、動物愛護センター（通称：ハローアニマル）を平成12年度に小諸市に設置し、動物愛護思想の普及や飼い主が飼養しきれなくなった愛玩動物の譲渡事業などを行っていますが、まだまだ殺処分される動物が跡を絶ちません。

特に、犬は飼養希望者が多く引き取り手が見つかりやすいのですが、

同じ愛玩動物でも猫は育ててくださる方がなかなか見つからず、殺処分される猫の数は犬の4倍にも上ります。それも「子猫」がその大部分というお話です。

人の心を癒してくれる犬や猫を飼う人は大勢いますが、ある日突然、猫が何頭かの子供を産んだといった現実と直面すると、その行く末を案じるのではな

く「捨てる」・「処分する」という選択をする心ない人も中にはいることも確かです。

こうした事態を招かないために、この NPO 法人では、不幸にも殺処分されてしまう猫を減らしたいという強い思いから、「不妊手術」を積極的に行っています。

この費用が高いと、手術を受けられる猫がどうしても限られてしまうので、神奈川県大和市の獣医師と提携し、手術を行えるようにしています。

この NPO 法人では、これまで延べ約 8 千頭もの猫の不妊手術を行ってきました。

今までは土日での実施でしたが、利用者の声を受けて 5 月からは、平日の実施も検討中とのことです。

近年は行政でも、猫を殺処分するのではなく、「地域猫」として、その地域にいる猫をみんなで「見守る」

という考えを定着させるよう、啓発を行うところが多くなってきました。

この取り組みは、日本では、横浜市磯子区で始まり、全国の自治体へと広まりましたが、家庭の花壇を荒らしたり、糞をしてしまったりするなど問題もあり、定着までには至っていないというのが実態です。

捨て猫は、外の大変に厳しい環境では、生き抜くことが本当に難しいようで、この NPO 法人で、ボランティアで働いている方の中には、自宅で捨て猫の世話をされている方も多くいます。

この NPO 法人では、犬が人との共存していくために不可欠であり、この法人の活動のもうひとつの柱の犬の「正しいしつけ」を学習する



不妊手術風景

不妊手術風景



正しいしつけ勉強会

★愛犬のしつけ方勉強会★

2/17(日) 3/3(日) 3/17(日) や、

★おたのしみイベント★

などを定期的に行っています。

今後の予定については変更となる場合もありますので、事前に電話で確認してください。

また、この活動に参加されたい方、愛玩動物の飼養などの相談をしたい方は下記までご連絡をお願いします。

NPO 法人代表 丸田 由香里
NPO 法人住所 長野市安茂里 3608-3
お問い合わせ先 026-223-5737
ホームページ : <http://www.naganodoufuku2.org>
メール naganodoufuku@kitic.co.jp